

学位被授与者氏名	王 羿蘇 (おう いそ)
論文題目	「金融システムの健全性維持に向けた香港カレンシーボード制の変容」
論文審査結果の要旨	<p>香港のカレンシーボード制については、アジア金融通貨危機などを経て、なぜ今日まで維持されてきたのか、今後とも持続可能なのかといった点から、これまで先行研究が発表されてきた。しかし、2008・09年以降の世界金融危機以後の状況については、詳細がいまだ明らかになっていない。本論文は、2008・09年以降の香港の国際通貨制度に主な焦点を当てつつも、それ以前からの変遷も辿って、現代にいたる変質を明らかにしている。先行研究と今日までの制度の展開を十分に踏まえた論理展開を行っており、手堅い修士論文といえるだろう。</p> <p>とりわけ、古典的固定相場制とカレンシーボード制の定義・性質の違いを提示したうえで、実態としての性質変化が、すでに起きていることを理論と実証の両面から鋭く解明している点は、大いに評価できる。また、2000年代後半について、マネタリーベースとバンキング・バランスの量的変化の食い違いを発見したことは、本論文の主張である性質変化の一層の浸透を証明する根拠として、大変首肯できるものである。</p> <p>なお、カレンシーボード制の定義には、本論文の定義と異なるものもあり、そうした他の定義に則して今日の制度変化を説明すると、どのような解釈がありうるのかについて、説明する余地はあったであろう。また、なぜ香港金融管理局はそのような不胎化を行って、金利操作を手に入れる必要があったのかについて、香港国内の経済および金融システムの健全性との関連をより詳細に提示すれば、さらに厚みのある内容になったと思われる。とはいえ、こうした点は、本論文の内容をさらに発展させうる今後の課題というべきものであろう。</p> <p>現代の香港の通貨制度の変容を明らかにした点で、本論文は学術的な価値のあるものであり、修士（経済学）に十二分に値するものであるといえる。</p> <p>平成27年2月13日に北九州市立大学北方キャンパス本館9階の経済学部資料室において、審査委員全員が出席したもとで最終試験を実施した。王 羿蘇 氏から論文の説明を受けつつ質疑応答を行い、論文の内容と学力を確認した。その結果、当該論文が修士（経済学）を授与するに十分な内容であると全員一致で判定した。</p>